

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名	茨城県笠間市
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	茨城県のほぼ中央部に位置し、令和7年3月1日時点の人口は70,564人、面積は約240.40平方キロメートルで、笠間稲荷神社の門前まちとして笠間焼や稲田みかげ石の産地として発展してきた旧笠間市と、JR友部駅や充実した高速道路網の分岐点として交通の要衝となる友部町、標高306mの愛宕山を中心に豊かな自然と栗の産地として栄える岩間町が平成18年3月に合併し新生「笠間市」として、未来へ挑戦し続けるまちです。 茨城県産の栗は日本一の生産量を誇り、中でも本市はその栽培面積及び経営体数でもトップのシェアを誇っています。 笠間芸術の森公園では、大規模なイベントが年間を通じて開催されており、春には、一大陶器市である「笠間の陶炎祭（ひまつり）」が開催されます。また、季節ならではのイベントとして「笠間つつじまつり」や日本最古の「笠間の菊まつり」が街中を彩ります。 また、令和3年にオープンした『道の駅かさま』では、笠間の栗を使用したモンブランを通年型で提供でき、笠間栗ファクトリーとともに市内へのゲートウェイ機能を支えています。 作家数300名を超える「笠間焼」は、茨城県笠間陶芸大学校とともに創造性を育み伝統を紡ぎながら発展を続けており、日本橋や東京駅に建材として利用される「稲田みかげ石」は、2024年に東アジア初の『ヘリテージストーン』に認定されました。その他にも、以下のコンテンツを用意しております。 【自 然】吾国愛宕ハイキングコース（約17Km）、桜、つつじ、菊 【フード】栗、笠間いなり寿司（変わり種）、カフェ、蕎麦 【ワーク】市内各所にIBARAKI Wi-Fiをはじめ、Wi-Fiスポットあり 【観 光】笠間稲荷神社、笠間工芸の丘、茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館 春風萬里荘 など   茨城県 笠間市 （令和7年3月1日現在） 人口 70,564 人 世帯 30,149 世帯 面積 240.40 km² アクセス ◇電車 ◀ JR常磐線 ▶ 友部駅（東京から約60分） ◀ JR水戸線 ▶ 笠間駅（山から約10分） ◇車 ◀ 常磐自動車道 ▶ 岩間IC（二環から約40分） ◀ 水戸自動車道 ▶ 笠間西IC（常磐線から約10分） ◇高速バス ◀ 関東や東北の各都市 ▶ 笠間手越（商業地区から約10分）

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

アクセス方法 (参考経路)	電 車：【JR 上野駅】-JR 常磐線特急「ときわ」(約 70 分) - 【JR 友部駅】 (片道 約 3,500 円) 自家用車：【三郷】-常磐自動車道(約 40 分) - 【岩間 IC】- 【友部 SIC】 (片道 約 2,500 円) 高速バス：JR 秋葉原駅 -茨城交通「関東やきものライナー」- 道の駅かさま 15 時台&17 時台 ⇄ 8 時台&9 時台 (片道 約 1,700 円)
主な地域課題	・首都圏から距離が近く日帰りでの観光が容易である一方で、滞在時間が短く、観光消費額単価が低いことが課題となっています。 ・道の駅かさまが盛況である故に季節的に交通渋滞が発生し、JR の主要駅からの二次交通対策にも課題を抱えています。 ・観光資源の魅力を高め、新たな層の誘客を進めるために、市内既存施設において民間活力を導入し整備を行うことに遅れを感じています。 ・中小企業が多く、労働力不足と事業承継など問題となっていることから、できるだけ速やかに取り組まなければならない状況になっています。 ・空き家や空き店舗の増加、高齢化によるコミュニティの低下なども大きな課題となっています。 ・NPO 法人をはじめ、市民団体の高齢化も進んでおり、ボランティア団体を含めて、新陳代謝を図る必要性を感じています。
受入時期	令和 7 年 7 月下旬～12 月末日 (希望内容及び人数によって制限があります)

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

ワーケーション プログラム内容 （右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。）	以下のメニューを複合的に活用いただくことで、多忙な業務と各種のデジタルデバイスに囲まれた環境から離れることで、経営者として経営陣として本質的に重視すべき事項にしっかりと向き合うことができ、オフサイトミーティングとして、従業員同士の親睦や在籍企業に対する従業員エンゲージメントを高める効果が期待できます。 ◆必須：宿泊場所の指定 1. 笠間ふれあい体験旅行推進協議会 / ゲストハウス（3軒）＆民泊（6軒） https://kasama-fureai-taiken.com/minpaku.html 宿泊費：民泊は 13,500 円（1泊2食）ゲストハウスは 8,000 円（素泊まり） 2. ETOWA KASAMA / コテージ 10 棟＆グランピングテント 6 棟 https://www.cigr.co.jp/etowa/kasama/ ※IROHA（市内にコワーキングスペースあり） https://iju-ibaraki.jp/information/news/7022.html ※宿泊場所は体験内容や日程によりその都度調整により決定 ◆必須：笠間焼の陶芸体験 1. 笠間工芸の丘（手ひねり・ロクロ・その他） https://kasama-crafthills.com/ ◇任意：実施可能な体験プログラム <農業体験> 米や野菜の栽培収穫体験（有機農業をまなぶ） 栗の栽培・加工体験 <林業体験> 森林整備体験、ビオトープの整備体験 <農的な暮らし体験> 郷土料理体験（味噌づくり、漬物づくり、季節の料理など） <工芸体験> 陶芸体験、陶芸家さんのお手伝い（陶炎祭のお手伝いなど） 木工体験（カンナ掛け、箸づくりなど） <その他> 古民家の改修の手伝い、稲荷ばやし体験（和太鼓や踊り） 合気道体験、座禅・写経体験 県内屈指のゴルフ場（9つ） ふるさと案内人 や かさまコンシェルジュによるオーダー型ツアー
主な対象事業者	・上記体験に関心がある事業者 ・コンサルティング業 市内施設における民間活力の導入検討をいただくことを前提としていま



連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

	す。 ・マーケティング業 伝統的工芸品の笠間焼や笠間の栗の魅力を発信していただきたいです。必要に応じて、事業者とのお繋ぎもできます！ ・観光マーケティングに強みがある事業者 来訪者の経済効果等の測定を受託できることを望みます。
受入上限数	● 笠間ふれあい体験推進協議会 → 希望する体験の内容と宿泊場所によって調整（20 名以下） ● ETOWA KASAMA → 希望する日程と人数・男女部屋分けにて調整（64 名以下）
未就学児の子ども受入	【可・不可】 ※ 一時的な預かりが可能な場合があります（要相談）。お子様の年齢やプログラム内容によっては、同行が可能です。
事業者に期待すること	本市を知っていただき、まずはイベントへの参加からでも笠間での体験に関心をもっていただき、継続的に関わっていただきたいです。 また、本プログラムの実行が市民にとって望ましい効果をもたらすとともに、本市へ来訪される企業のもつ課題やニーズの解消にとって強く貢献できることを期待しています。 従業員同士だけでなく、家族も含め市内の観光施設や食事、多彩な体験コンテンツを通して滞在を満喫いただくことで更なる関係性を深めるために、生活体験施設の利用や笠間クラインガルテンの利用などをお勧めいたします。 1. かさちょこハウス（移住体験施設） https://www.city.kasama.lg.jp/page/page011124.html 2. 笠間クラインガルテン（二地域居住型農業体験施設） https://www.kasama-kg.jp/
留意事項	・体験は時期によって内容が変わります。体験内容、実施時期、宿泊場所、交通手段など詳細はその都度調整して決定させていただきます。 ・市内を自由に行動したい場合は、自家用車やレンタカー、タクシーが便利です。